

花 橘

あなたは何でできている？

保健主事 岩井 小百合

発行日

令和6年5月28日

第3号

発行・編集

三崎高校総務課

特別教棟1階ランチルームに、伊方町学校給食センターからいただいた「愛媛のおさかな」という大きなポスターを貼っています。このポスターは新入生、特に県外生や寄宿舎生の目に留まり、伊方町で釣れる魚や休日の釣りの話で盛り上がりがあります。魚離れが進んでいるとよく聞きますが、生徒たちは「自分で釣った魚を、さばいて、調理し、食べる」までを経験し、自然と魚に興味を持つことができる環境の中にいます。食に関する記憶は、このような経験が少しずつ積み重なって、その後の食生活に影響していくのかもしれない。

本校は、令和2年度から学校給食の提供を開始しています。伊方町学校給食センターの供給体制の関係で提供食数の上限は決まっています。5年目を迎えた今年度は、80食対応可能となりました。順番に回ってくる給食当番や苦手な献立（特に野菜類）に悪戦苦闘する様子も見られますが、寄宿舎生も混じえて、コロナ禍では体験できなかった「本来の学校給食」の形ができつつあることを感じます。

バランスの良い食事と規則正しい食生活は、成長期にはとても重要です。「人を良くすると書いて【食】・・・毎月19日は食育の日です。食べることの大切さについて、少し真面目に、そして楽しく考える日に見てみてください。」

参観授業&人権・同和教育講演会

5月11日(土)に参観授業と人権・同和教育講演会が実施されました。1限目は各教科の授業、2限目は保護者参加型のHR活動が行われ、1年生は「学年 de レクリエーション～スーパーアイスブレイク～」、2年生は「私の歴史～そして未来へ～」、3年生は「三崎の伝統文化に触れる～裂織体験～」をテーマに様々な活動を行いました。3限目の人権・同和教育講演会では、妻鳥和恵氏が講師として「再スタートのパートナー」をテーマにお話し下さいました。今回の参観授業では、入学・進級してまた一つ成長した生徒達の姿を見ることができたのではないかと思います。これからもさらに成長した姿をお見せできるよう教職員一同全力でサポートして参ります。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中参観授業やPTA総会等、多数御出席頂きまして誠にありがとうございました。

